

嬉野医療センターを受診された患者さまへ

研究情報公開について

通常、臨床研究を実施する際には、文章もしくは口頭で説明・同意を行い実施します。臨床研究のうち、患者さまへの侵襲や介入もなく診療情報等の情報のみを用いた研究については、国が定めた指針に基づき「対象となる患者さまの一人ずつから直接同意を得る必要はありません」が、研究の目的を含めて、研究の実施についての情報を公開し、さらに拒否の機会を保障することが必要です。

当院では下記の臨床研究を実施しております。本研究の対象に該当する可能性がある方で、診療情報等を研究目的に利用、または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。

研究課題名	201Tl 心電図同期心筋血流シンチグラフィにおける解析ソフトの違いが左室機能解析に及ぼす影響
研究責任者（所属名）	鶴丸 貴大（放射線科）
本研究の目的	当院では、現在心電図同期シンチグラフィの解析に3種類のソフトウェアを用いている。しかし、3者の解析結果にばらつきがみられることがあり、循環器内科医師からどのデータを参考にすればよいか判断に迷う意見が出ている。そこで、どの程度ばらつきがあるか検証したり超音波検査と解析結果を比較したりすることでソフトウェアの違いが解析結果に及ぼす影響を検証する。
調査データの該当期間	2023 年 1 月から 2025 年 3 月まで
研究の方法 (使用する試料等)	上記期間にて 201Tl 心筋薬剤負荷血流シンチグラフィおよび検査していれば心エコーを行った患者データを本研究の対象とする。データの内訳としては、患者年齢、性別、身長、体重および検査の EF、EDV、ESV を使用する。これらデータは、検査終了後に核医学検査で用いる解析ソフトウェア（QGS、HRV-F、cardioREPO）、超音波装置から得られる値であり、これら実測値を使用してソフトウェア間および核医学検査と超音波検査間の比較・検討を行う。
個人情報の取り扱い	利用する情報から、氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除した状態で取り扱われます。研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は一切利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	電話：0954-43-1120（代表） 担当者：管理課長
備考	